

## 平成 20 年 3 月期 第 3 四半期財務・業績の概況

平成 20 年 2 月 13 日

上場会社名	テクニカル電子株式会社	上場取引所	J Q
コード番号	6 7 1 6	URL	<a href="http://www.technical-e.co.jp">http://www.technical-e.co.jp</a>
代表者	役職名	取締役社長	代表執行役員
	氏名	早川	義彰
問い合わせ先	責任者役職名	経理部長	
	氏名	八子	将
		TEL	(03) 3762-5152

(百万円未満切捨て)

1. 平成 20 年 3 月期第 3 四半期の連結業績 (平成 19 年 4 月 1 日 ~ 平成 19 年 12 月 31 日)

(1) 連結経営成績 ( %表示は対前年同四半期増減率 )

	売上高		営業利益		経常利益		四半期(当期)純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
20 年 3 月期第 3 四半期	6,240	( 3.9 )	216	( 46.5 )	161	( 51.4 )	84	( )
19 年 3 月期第 3 四半期	6,494	( 27.3 )	404	( )	331	( )	227	( )
19 年 3 月期	8,753		561		461		263	

	1 株当たり四半期 (当期)純利益		潜在株式調整後 1 株当たり四半期 (当期)純利益	
	円	銭	円	銭
20 年 3 月期第 3 四半期	10	58		
19 年 3 月期第 3 四半期	28	33		
19 年 3 月期	32	88		

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1 株当たり純資産	
	百万円		百万円		%		円	銭
20 年 3 月期第 3 四半期	11,108		1,687		15.2		210	22
19 年 3 月期第 3 四半期	10,892		1,659		15.2		206	66
19 年 3 月期	11,288		1,736		15.4		216	28

2. 配当の状況

	1 株当たり配当金	
	第 1 四半期末	
	円	銭
20 年 3 月期第 3 四半期		
19 年 3 月期第 3 四半期		

3. 平成 20 年 3 月期の連結業績予想 (平成 19 年 4 月 1 日 ~ 平成 20 年 3 月 31 日)

(%表示は、前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
通 期	8,000	8.6	350	37.6	250	45.8	192		23	92

平成 20 年 1 月 18 日付け「業績予想の修正および特別損失の発生に関するお知らせ」の発表時における業績予想に変更はありません。

4. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う 特定子会社の異動) : 有  
 [新規 0 社 除外 1 社(社名 日飛電子精機(株))] ]
- (2) 会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 有
- (3) 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 有

[(注) 詳細は、3 ページ【定性的情報・財務諸表等】 4. その他をご覧ください。]

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報及び将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る本資料発表日現在における仮定を前提としています。実際の業績は今後、様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。

【定性的情報・財務諸表等】

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第 3 四半期におけるわが国経済は、米国サブプライムローン問題に端を発する金融不安・株式市場への影響や原油高をはじめとする原材料価格の高騰等の懸念材料を残し、景気の先行きについての不透明感を否めない経済環境下で推移いたしました。

このような情勢の中、当社では中期経営計画スローガン「Challenge100」の下でグループ売上高 100 億円・「品質」「納期」「価格」の 100% 実行を目標に企業基盤の整備・拡充を推進してまいりました。

しかしながら、主力事業である駐車場関連事業は、平成 18 年 6 月に施行された改正道路交通法により違法駐車取締りが強化されたことなどにより市場が活況を呈していましたが、当期は収束傾向にあること、また、原油高の高騰など自動車の使用を手控える傾向がありコインパーキング市場全体が冷込んだことなどにより期初の目標を下回り推移いたしました。電子機器部品事業は、電子精密部品が子会社（EPE 株式会社）のプレス部品が引き続き好調であったことから、業績は堅調に推移いたしました。駐車場関連事業の落込みを補填するまでには至らずに進捗致しました。

これらの結果、第 3 四半期の売上高は 62 億 4,075 万円（対前年同四半期比 3.9% 減）、営業利益は 2 億 1,646 万円（対前年同四半期比 46.5% 減）、経常利益は 1 億 6,125 万円（対前年同四半期比 51.4% 減）、当期純損失は 8,494 万円となり、対前年同四半期と比べ 3 億 1,241 万円の減益となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第 3 四半期末における総資産は、資産の部で現金及び預金等が、また、負債の部で支払手形及び買掛金等が減少したことに伴い、前連結会計年度末に比べ 1 億 8,026 万円減少し、111 億 859 万円となりました。

純資産は、前連結会計年度末に比べ 4,864 万円減少し、16 億 8,772 万円となりました。

また、自己資本比率は、前連結会計年度末に比べ 0.2% 減少し、15.2% となりました。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

当第 3 四半期末は、ほぼ計画通りに推移しており、現時点におきましては、平成 20 年 1 月 18 日付け「業績予想の修正および特別損失の発生に関するお知らせ」の発表時における業績予想に変更はありません。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

前期末において当社の連結子会社であった日飛電子精機株式会社は、平成 19 年 4 月 3 日付けで当社と合併し、消滅いたしました。

(2) 会計処理の方法における簡便な方法の採用

影響額の僅少なものにつき、一部簡便な方法を採用しております。

(3) 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更

（役員退職慰労引当金）

当社は役員退職慰労金については、従来、支出時の費用として処理しておりましたが、当連結会計期間より「租税特別措置法上の準備金及び特別法上の引当金又は準備金並びに役員退職慰労引当金等に関する監査上の取扱い」（監査・保証実務委員会報告第 42 号 平成 19 年 4 月 13 日）を適用し、内規に基づく連結会計期間末要支給額を役員退職慰労引当金として計上する方法に変更いたしました。

この変更に伴い、当期発生額 12,780 千円は販売費及び一般管理費に、過年度相当額 83,171 千円は特別損失にしております。

この結果、従来と同一の方法によった場合と比べて、当四半期連結会計期間の営業利益及び経常利益はそれぞれ 12,780 千円減少、税金等調整前四半期純損失は 95,952 千円増加しております。

5.(要約)四半期連結財務諸表

(1)(要約)四半期連結貸借対照表

(単位:千円、%)

科 目	前年同四半期末 〔平成19年3月期〕 第3四半期末	当四半期末 〔平成20年3月期〕 第3四半期末	増 減		(参考)前期末 (平成19年3月期末)
	金 額	金 額	金 額	増減率	金 額
<b>(資産の部)</b>					
<b>流動資産</b>					
現金及び預金	2,118,718	2,153,338			2,340,234
受取手形及び売掛金	1,096,169	1,008,453			1,241,278
たな卸資産	1,079,700	1,161,378			1,144,618
その他	442,857	771,818			397,346
貸倒引当金	21,614	25,598			26,096
流動資産合計	4,715,831	5,069,389	353,557	7.5	5,097,381
<b>固定資産</b>					
有形固定資産	5,305,752	5,393,289			5,365,788
無形固定資産	403,696	372,144			395,884
投資その他の資産					
(1) 関係会社株式	10,000	10,000			10,000
(2) 差入保証金	230,350	212,337			213,605
(3) 保険積立金	166,401	642			163,095
(4) その他	72,367	61,651			53,962
貸倒引当金	11,569	10,859			10,859
投資その他の資産合計	467,551	273,773			429,803
固定資産合計	6,176,999	6,039,206	137,792	2.2	6,191,475
資産合計	10,892,831	11,108,596	215,764	2.0	11,288,857
<b>(負債の部)</b>					
<b>流動負債</b>					
支払手形及び買掛金	1,107,858	909,557			1,058,372
短期借入金	2,934,586	3,464,075			3,448,579
その他	787,115	855,169			488,236
流動負債合計	4,829,561	5,228,803	399,242	8.2	4,995,187
<b>固定負債</b>					
社債	485,000	280,000			580,000
長期借入金	2,259,365	2,136,914			2,285,825
退職給付引当金	47,276	47,666			51,478
役員退職慰労引当金	16,762	106,236			18,517
再評価に係る繰延税金負債	317,565	317,565			317,565
長期受入保証金	530,298	523,359			531,811
長期未払金		36,739			56,385
未払退職金	613,081	619,817			603,345
その他	134,812	123,765			112,367
固定負債合計	4,404,161	4,192,063	212,097	4.8	4,557,293
負債合計	9,233,722	9,420,866	187,144	2.0	9,552,480

科 目	前年同四半期末 〔平成 19 年 3 月期〕 第 3 四半期末	当四半期末 〔平成 20 年 3 月期〕 第 3 四半期末	増 減		(参考)前期末 (平成 19 年 3 月期末)
	金 額	金 額	金 額	増減率	金 額
<b>(純資産の部)</b>					
<b>株主資本</b>					
資本金	1,052,850	1,052,850	-	-	1,052,850
資本剰余金	236,436	236,436	-	-	236,436
利益剰余金	160,039	208,465	48,425	23.2	123,523
自己株式	3,294	3,400	106	3.2	3,294
株主資本合計	1,125,952	1,077,420	48,532	4.3	1,162,468
<b>評価・換算差額等</b>					
その他有価証券評価差額金	1,874	111	1,763	94.0	1,743
土地再評価差額金	462,885	462,885	-	-	462,885
為替換算調整勘定	68,386	147,301	78,915	115.4	109,269
評価・換算差額等合計	533,145	610,298	77,152	14.5	573,898
<b>少数株主持分</b>	10	10	0	0.0	9
<b>純資産合計</b>	<b>1,659,108</b>	<b>1,687,729</b>	<b>28,620</b>	<b>1.7</b>	<b>1,736,377</b>
<b>負債、純資産合計</b>	<b>10,892,831</b>	<b>11,108,596</b>	<b>215,764</b>	<b>2.0</b>	<b>11,288,857</b>

(2) (要約) 四半期連結損益計算書

(単位：千円、%)

科 目	前年同四半期	当四半期	増 減		(参考)前期
	〔平成19年3月期〕 第3四半期	〔平成20年3月期〕 第3四半期	金 額	増減率	(平成19年3月期) 金 額
<b>売上高</b>	6,494,644	6,240,756	253,888	3.9	8,753,285
<b>売上原価</b>	4,995,149	5,011,864	16,714	0.3	6,721,187
売上総利益	1,499,495	1,228,891	270,603	18.0	2,032,098
<b>販売費及び一般管理費</b>	1,094,711	1,012,424	82,286	7.5	1,471,078
営業利益	404,783	216,467	188,316	46.5	561,019
<b>営業外収益</b>	47,146	54,699	7,552	16.0	81,350
<b>営業外費用</b>	120,192	109,908	10,283	8.6	180,510
経常利益	331,738	161,257	170,480	51.4	461,858
<b>特別利益</b>	23,281	13,650	9,631	41.4	12,561
<b>特別損失</b>	89,723	159,147	69,423	77.4	177,867
税金等調整前四半期(当期)純利益	265,297	15,761	249,535	94.1	296,553
税金費用	37,821	100,702	62,880	166.3	32,562
少数株主利益	3	0	2	71.8	2
四半期(当期)純利益(又は四半期純損失)	227,472	84,941	312,414	-	263,988